

JGOG1080S: 子宮頸部腺癌に対する同時化学放射線療法に関する調査研究

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査の目的】

子宮頸部腺癌に対する同時化学放射線療法（CCRT）に関する調査を行い、本邦における治療方法、治療成績と有害事象を評価し、今後の子宮頸部腺癌に対するCCRTによる臨床試験デザインに必要なデータを収集することを目的とする。

【対象】

2000年1月から2014年6月に子宮頸部腺癌の診断でCCRTが初回治療として開始された症例。

目標調査症例数：200 例

【調査項目】

患者背景因子：年齢、進行期（日産婦 2011、FIGO 2008）、組織型、最大腫瘍径、リンパ節腫大の有無、腫大リンパ節部位、治療開始日、治療終了日

化学療法：レジメン、薬剤名、投与量、サイクル数

放射線療法：1) 外照射について；照射野、照射方法、総線量、Boost
2) 腔内照射について；施行の有無、施行回数、線量（A点）、治療計画方法、組織内照射の有無・回数

治療成績・予後：遺残・再発の有無、初再発部位、初再発確認日、生存の有無・状態、最終生存確認日

晩期有害事象

【調査期間】

2016年11月から2017年3月31日

【研究機関・組織】

特定非営利活動法人婦人科悪性腫瘍研究機構（JGOG）子宮頸がん委員会

【代表者連絡先】

琉球大学医学部附属病院 産科婦人科／長井 裕